



地域を支え、地域に支えられる病院



専攻医募集のご案内



社会医療法人 岡本病院(財団)

京都岡本記念病院

理念

慈 仁

いつくしみの心で、すべての命に平等に向きあう

2016年1月 社会医療法人 岡本病院(財団)

岡本病院憲章

岡本病院憲章

岡本病院の使命は、医療を以って地域住民に奉仕することにある。
そのために職員は

「この人はわが子、わが親、わが兄妹」

といった気持ちで患者に接しなければならない。

この言葉は

「いつでも、だれでも、よい医療を」

ということに通ずる。

従って職員は、医療内容の充実と向上のためのたゆまざる研鑽に励まなければならない。

同時に病院も、そうした職員の努力と期待に応え、医療設備の充実はもちろん職員の待遇と福祉の向上に努めなければならない。

過去二十五年、岡本病院は、この精神を貫き通して地域住民の期待に応じて今日の発展を見たが、医療の荒廃が叫ばれる昨今、我々は思いを新たにして地域住民の医療に奉仕せんとするものである。

昭和五十四年四月

社会医療法人岡本病院(財団)

沿革

明治 39 年、岡本病院開業

岡本病院のあゆみは、1906 年（明治 39 年）岡本豊蔵が開業した診療所から始まります。診療所を受け継いだ岡本隆一が、1954 年（昭和 29 年）医療法人 岡本病院（財団）を創立。以来「この人はわが子、わが親 わが兄妹」を信条に、患者さまに対するまごころ医療を実践してきました。「医療を以って地域住民に奉仕せん」と岡本病院憲章にもうたわれている通り、その歴史は、地域の人々との太い信頼のパイプによって積み重ねられてきたものです。

1906 年	明治 39 年	創設者 岡本豊蔵、伏見に診療所開設
1954 年	昭和 29 年	20 床の許可病床を取得、医療法人 岡本病院（財団）を開設
1964 年	昭和 39 年	救急告示の指定を受ける
1979 年	昭和 54 年	宇治市神明石塚に第二岡本病院を開設 「岡本病院憲章」を制定
1986 年	昭和 61 年	京都市伏見区の岡本病院を第一岡本病院に改称
1988 年	昭和 63 年	第二岡本病院を第二岡本総合病院に改称
1994 年	平成 6 年	宇治市神明石塚に訪問看護ステーションひまわりを開設
1998 年	平成 10 年	外来の院外処方箋発行を開始
1999 年	平成 11 年	居宅介護支援事業所を開設 特定集中治療室（6 床）を設置
2000 年	平成 12 年	宇治市伊勢田町に血液透析施設 あすなる岡本診療所を開設 医療機能評価受審・認可
2002 年	平成 14 年	府内で初めて特別医療法人の認可を受ける 開放型病床（13 床）を設置
2003 年	平成 15 年	管理型臨床研修病院（現：基幹型臨床研修病院）に指定
2004 年	平成 16 年	回復期リハビリテーション病棟（46 床）を設置
2005 年	平成 17 年	特定医療法人の認可
2006 年	平成 18 年	おかもと総合クリニックを開設、電子カルテ導入 医療機能評価受審・認可（Ver5.0 受審区分 3）
2007 年	平成 19 年	大動脈センター・心臓センター開設 外来化学療法室（2 床）を設置
2008 年	平成 20 年	脳卒中センターを開設 京都府から「京都府地域がん診療連携協力病院」に指定
2009 年	平成 21 年	京都初の「社会医療法人」に認定
2011 年	平成 23 年	京都府より「京都府地域がん診療連携病院」に指定
2012 年	平成 24 年	京都府より「京都府災害拠点病院（地域災害医療センター）」に指定 京都府より「地域医療支援病院」に認定
2015 年	平成 27 年	厚生労働省から「地域がん診療病院」に認定
2016 年	平成 28 年	久世郡久御山町佐山に移転、「京都岡本記念病院」に改称 放射線治療を開始
2018 年	平成 30 年	あすなる岡本診療所が、おかもと総合クリニック内に移転
2019 年	平成 31 年	おかもと総合クリニックがおかもとクリニックと改称
2020 年	令和 2 年	厚生労働省から「地域がん診療連携拠点病院」に指定

京都岡本記念病院の概要

名称	社会医療法人 岡本病院(財団) 京都岡本記念病院
院長	高木 敏貴
所在地	〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山西ノ口 100 番地
アクセス	・近鉄京都線「大久保」駅または JR 奈良線「新田」駅から、 京都京阪バス乗車(淀方面行き) 「佐山」下車徒歩約 5 分 ・第二京阪道路 大阪方面から 「久御山南 IC」よりすぐ 京都方面から 「八幡東 IC」より車で 5 分
開設日	1979 年 4 月 1 日(第二岡本総合病院として) ※2016 年 5 月 1 日、新築移転を機に改称
病床数	419 床 (ICU8 床、HCU12 床、SCU6 床、回復期リハビリテーション病棟 59 床、)
設備	手術室 8 室(現在は 7 室運用)、外来化学療法 10 床、電子カルテ、64 列ヘリカル CT1 台、128 列×2 ヘリカル CT1 台、MRI2 台(1.5T、3T)、X 線 TV 装置 2 台、X 線撮影装置 4 台、アンギオ撮影装置 3 台、デジタルマンモグラフィー 1 台、ESWL1 台、リニアック 1 台、放射線治療計画用 CT 装置(20 列)1 台
看護基準	7 : 1
医師数	112 名(正職員) ※専攻医・研修医含む
職員数	937 名(正職員 825 名、パートタイマー 127 名)
標榜科目	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、ペインクリニック内科、外科、外科(消化器外科・肛門外科・がん)、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、精神科、リウマチ・膠原病内科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、心臓リハビリテーション科、放射線科、臨床検査科、病理診断科、麻酔科
認定・指定	基幹型臨床研修病院、地域がん診療連携拠点病院、救急告示病院、開放型病院、京都府地域リハビリテーション支援センター、京都府在宅療養あんしん病院、京都府災害拠点病院(地域災害医療センター)、地域医療支援病院、日本医療機能評価機構認定病院(3rdG:Ver.1.1)、臨床研修指定病院(卒後臨床研修評価機構認定施設)
法人関連施設	おかもとクリニック、岡本介護支援センターひまわり、訪問看護ステーションひまわり、ひまわり保育園(院内施設)、伏見岡本病院、訪問看護ステーションふれあい、居宅介護支援事業所ふれあい、伏見岡本デイケアセンター、おかもとクリニック通所リハビリテーションセンター、宇治おかもと安心介護の家(小規模多機能型)

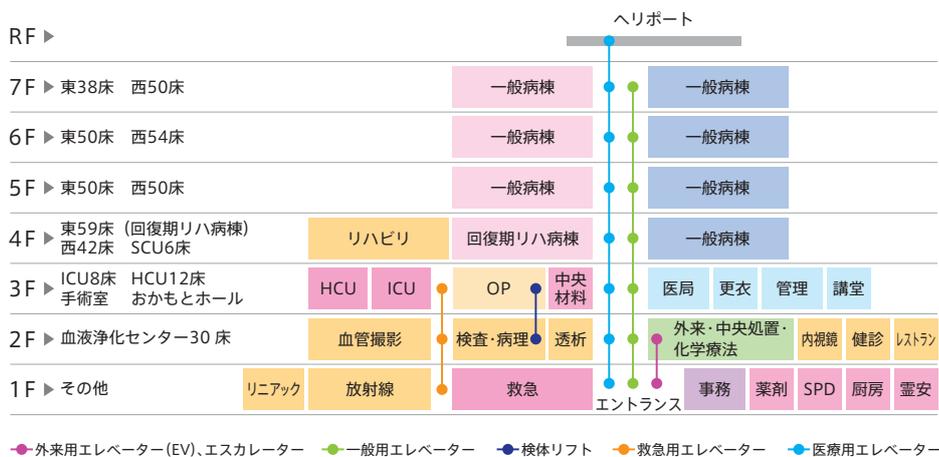
(2020 年 5 月 1 日現在)

診療科別医師数

消化器内科	8名	小児科	1名
循環器内科	9名	産婦人科	1名
糖尿病内分泌内科	3名	眼科	3名
腎臓内科	5名	耳鼻咽喉科	1名
脳神経内科	3名	皮膚科	1名
リウマチ・膠原病内科	2名	泌尿器科	2名
外科	5名	放射線科	3名
乳腺外科	2名	放射線治療センター	1名
整形外科	5名	特定集中治療室	2名
脳神経外科	6名	麻酔科	6名
心臓血管外科	3名	病理診断科	2名
呼吸器外科	5名	リハビリテーション科	4名
形成外科	1名	予防医学科	3名
総合診療科	3名	臨床検査科	1名
救急科	3名	精神科	1名
医師臨床研修センター（研修医）	16名		

(2020年5月1日現在)

各階の構成



敷地面積 約28,000㎡
 建築面積 約6,000㎡
 敷地面積 約30,000㎡
 駐車台数 450台
 地上7階建
 屋上救急ヘリポート設置

診療機能

救急機能の充実

24 時間体制の確立！

専門診療の充実

地域の先生方から「選ばれる病院」を目指して！

がん診療の充実

住み慣れたところでの包括的治療をサポート！

循環器疾患治療の充実

脳卒中、心・大血管疾患の急性期治療

地域医療支援病院機能の充実

医療資源を地域で共同利用、協同治療！

災害拠点病院としての充実

約 500 人収容可能なエリアを確保



当院の特徴



豊富な症例

2019 年度の救急搬入件数は 5,186 件と、地域の基幹病院として多くの急性期疾患を受け入れています。

専門医取得をバックアップ

職員が積極的に医療に関する専門資格を取得することを奨励しているため、一定の条件をクリアすれば資格取得に関わる研修・講義費・受験料・認定料等を全額病院負担とする等、専門医取得を全面的にバックアップします。

メディカルクラークによるサポート

現在、多数のメディカルクラークが各診療科で医師の診療をサポートしています。加えて、より実践的で専門的なスキルを備えたスペシャルメディカルクラークの育成にも力を入れ、今まで以上に医師の負担軽減を目指しています。

(2020 年 5 月 1 日現在)

処遇など

身分	医師(3年契約)
勤務時間	8:30~17:00
休日	日曜日を含む週休2日制、その他リフレッシュ休暇 年間3日
有給休暇	当院規定のとおり(1年目10日、2年目11日、3年目12日)
給与	1年目 450,000円/月 2年目 470,000円/月 3年目 490,000円/月
賞与	年2回(年間3.5カ月)
手当等	〔住宅手当〕 月額 40,000円 ※但し世帯主に限る、病院宿舍入居者は支給しません 〔通勤手当〕 当院規定のとおり 〔日宿直手当〕 日直: 54,000円/回 宿直: (平日) 59,000円/回 (日祝) 69,000円/回 レジデント副直: (平日) 39,000円/回 (日祝) 49,000円/回 〔年収概算〕 1年目 1,000万円 2年目 1,050万円 3年目 1,100万円
宿舍	病院近くの賃貸マンション (敷金・礼金及び賃貸料 40,000円/月まで病院負担)
社会保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険加入
健康管理	年2回職員健康診断実施
医師賠償責任保険	病院賠償責任保険に加入
学会・院外研修等への参加	各診療科予算範囲内で出張可。その他規定に準じる。

応募要項

応募資格	2021年3月末までに初期臨床研修を修了見込みの者 (それと同等の資格を有する者)
応募書類	履歴書(写真貼付)、医師免許証コピー
提出先	〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山西ノ口100番地 社会医療法人 岡本病院(財団) 法人事業部 総人事部 総人事課宛
連絡先	電話 0774-48-5500(代表)・0774-48-5550(直通) 法人事業部 総人事部 総人事課(jinji-mail@okamoto-hp.or.jp) (全角@を半角@に変えてください)
応募期間	日本専門医機構のスケジュールに準じる
選考日時など	日本専門医機構のスケジュールに準じる

内科専門研修プログラム

【内科専攻医へのメッセージ】

京都岡本記念病院は、京都府山城北医療圏にある急性期病院で、地域がん診療連携拠点病院・災害拠点病院・地域医療支援病院として地域医療に貢献しています。



院内では各科のカンファレンスや各種セミナー・勉強会を頻回に開催しており、カンサーボードなどの多職種合同カンファレンスなども実施しています。general な研修を行いながらも subspecial な研修を並行して行う事ができます。

近接医療圏にある連携施設・特別連携施設や大学病院において多様な形態での内科専門研修を行い、必要に応じた可塑性のある、地域医療にも貢献できる内科専門医を目指します。

内科プログラム統括責任者 鹿野 勉（腎臓内科部長・医局長）

《内科専門研修プログラム 連携施設一覧》

領域	連携施設	プログラム名
内科	京都府立医科大学附属病院	京都岡本記念病院内科専門研修プログラム(定員4名)
	京都第二赤十字病院	
	京都きづ川病院	
	福知山市民病院	
	洛和会音羽病院	
	滋賀医科大学医学部附属病院	
	近江八幡市立総合医療センター	
	大津赤十字病院	
	大阪府済生会中津病院	
舞鶴赤十字病院(特別連携施設)		

- プログラム概要
- ① 研修期間 3年間(うち連携施設1年)
 - ② 配属先は将来目指す診療科とし、サブスペシャリティ重点研修タイプ2年型を基本とする。

内科系診療科紹介

【腎臓内科】

腎臓内科は現在、部長以下5名で診療しています。腎臓は、いろいろな病態で影響を受ける臓器であり、特発性の糸球体腎炎のみならず、糖尿病などの代謝疾患、膠原病、感染関連腎炎、循環不全時の急性腎障害、電解質異常、ファブリー病などの遺伝疾患などさまざまな病態を呈します。血液透析や免疫異常時などの血漿交換などは、現在ではなくてはならない診療行為です。腎生検も年40例以上行っています。薬剤性腎疾患など医原性の原因も多く、臨床のさまざまな場面で腎疾患が絡みます。つまり全身を診るときに腎疾患を避けては通れないでしょう。また、当院は腎臓学会、透析医学会の認定研修施設であり、それぞれの専門医も取得できます。当院で腎疾患を通じて総合的に診療しましょう。

【消化器内科】

消化器内科は内視鏡、放射線、超音波装置などを駆使して、さまざまな疾患に対し、診断、および内視鏡治療、超音波装置を用いた経皮的治療などを行う診療科です。当科の内視鏡検査件数は年間8,000件を超え、地域でもトップクラスの症例数を経験できます。また、当科は日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会認定施設であり、当科の勤務実績で同学会専門医試験の受験資格が得られます。専攻医に対しては、常勤の学会認定指導医3名を含む専門医5名が指導に当たります。

【糖尿病内分泌内科】

京都岡本記念病院で働いて、専門医へステップアップしましょう！
当院は糖尿病学会認定施設、内分泌学会認定施設です。2019年度の入院症例数はケトアシドーシスを含め糖尿病は100例強であり、内分泌疾患も負荷試験から診ることができます。およそ2年間研修すれば、糖尿病および内分泌で専門医を取得する症例が経験できます。2020年時点で医師25年目、10年目、6年目の3名で構成されており、1人当たり年間1、2回学会発表も行っています。また、内科業務でCommonな疾患も多く診ることができ、内科医として成長することもできると思います。当院で一緒に働いて、医師としてステップアップを目指しましょう。

【脳神経内科】

当院は、日本神経学会の認定教育施設となっております。メンバーは主任部長と医長 2 名の 3 名で構成されております。当科では、さまざまな種類の神経疾患を経験することができ、当院での経験だけで、専門医取得も可能です。また日本脳卒中学会により、PSC(primary stroke center)としての認定も受け、脳神経外科と共同で急性期脳卒中診療も積極的に行い、学会発表も積極的に行っております。ぜひ、一緒に神経疾患診療を勉強していきましょう。

【循環器内科】

まず、虚血性心疾患・不整脈疾患・心筋疾患や心不全といった、基本的な心疾患の診断および治療方法についての基礎的な研修を主体としていきます。次に、基礎的な手技が習得された上で、PCI(経皮的冠動脈形成術)や EVT(経皮的血管形成術)あるいは不整脈に対するカテーテルアブレーションといった専門的手技の研修を行います。2020 年度には IMPRLLA 補助循環ポンプカテーテルやハイブリッドオペ室が導入され、さらに専門的な治療の研修が可能になっています。



当院が連携施設となるプログラム

《当院が連携施設となるプログラム 基幹施設一覧》

領域	基幹施設	プログラム名
内科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学内科専門研修プログラム
	京都第二赤十字病院	京都第二赤十字病院群内科専門研修プログラム
	滋賀医科大学医学部附属病院	滋賀医科大学内科専門研修プログラム
	洛和会音羽病院	洛和会音羽病院内科専門研修プログラム
	近江八幡市立総合医療センター	近江八幡市立総合医療センター内科専門研修プログラム
	大阪市立総合医療センター	大阪市立総合医療センター内科プログラム
外科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学外科専門研修プログラム
整形外科	滋賀医科大学医学部附属病院	滋賀医科大学整形外科専門研修プログラム
耳鼻咽喉科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学耳鼻咽喉科専門研修プログラム
泌尿器科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学泌尿器科専門研修プログラム
脳神経外科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学脳神経外科専門研修プログラム
	滋賀医科大学医学部附属病院	滋賀医科大学脳神経外科専門研修プログラム
放射線科	滋賀医科大学医学部附属病院	滋賀医科大学放射線科専門研修プログラム
麻酔科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学麻酔科専門研修プログラム
病理	京都府立医科大学附属病院	みやこ病理専門研修プログラム
救急科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学附属病院救急科専門研修プログラム
	京都大学医学部附属病院	京都大学医学部附属病院救急科専門研修プログラム
	京都第一赤十字病院	京都第一赤十字病院救急科専門研修プログラム
	京都第二赤十字病院	京都第二赤十字病院救急科専門研修プログラム
	大阪市立大学医学部附属病院	大阪市立大学医学部附属病院救急科専門研修プログラム
リハビリテーション科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学リハビリテーション科専門研修プログラム
	関西医科大学附属病院	関西医科大学リハ研修プログラム
産婦人科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学産婦人科研修プログラム
眼科	京都大学医学部附属病院	京都大学大学院医学研究科眼科学専門研修プログラム
総合診療科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学総合診療専門研修プログラム
形成外科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学形成外科専門研修プログラム

学会専門医認定施設

- 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本内分泌学会認定教育施設
- 日本病院総合診療医学会認定施設
- 日本透析医学会専門医制度認定施設
- 日本腎臓学会研修施設
- 日本神経学会専門医制度教育施設
- 日本リウマチ学会教育施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設
- 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構研修施設
- 日本脳神経外科学会専門医認定制度研修施設(基幹施設：滋賀医科大学脳神経外科)
- 日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- 日本リハビリテーション医学会研修施設
- 日本乳癌学会関連施設(認定施設：京都府立医科大学附属病院)
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本集中治療医学会専門医研修施設
- 日本ペインクリニック学会指定研修施設
- 日本医学放射線学会専門医制度放射線科専門医修練機関(放射線科専門医総合修練機関：滋賀医科大学医学部附属病院)
- 日本救急医学会救急科専門医指定施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- 日本呼吸器外科専門研修連携施設(基幹施設：京都大学呼吸器外科)
- 日本病理学会研修登録施設
- 日本脊髄外科学会訓練施設
- 日本眼科学会専門研修施設
- 関連 10 学会構成ステントグラフト実施基準管理委員会胸部・腹部ステントグラフト実施施設
- 日本静脈経腸栄養学会認定 NST(栄養サポートチーム)稼働施設
- 日本病態栄養学会認定栄養管理・NST 実施施設及び栄養管理・指導実施施設
- 日本乳房オンコプラスチックサージャリー実施施設登録施設エキスパンダー実施施設
- 日本乳房オンコプラスチックサージャリー実施施設登録施設インプラント実施施設
- 下肢静脈瘤による血管内焼却術実施基準実施医、実施施設
- 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
- IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル実施施設

(2020 年 4 月現在)

専攻医受入実績

京都岡本記念病院 内科専門研修 プログラム

その他連携施設 としての専攻医の 受入実績

採用年度	採用人数	診療科	初期研修医先
2020年度	2名	腎臓内科	済生会吹田病院
		消化器内科	済生会吹田病院
2019年度	3名	総合診療科	草津総合病院
		循環器内科	京都民医連中央病院
		循環器内科	草津総合病院
採用年度	採用人数	診療科	基幹病院
2020年度	8名	消化器内科	京都第二赤十字病院
		消化器内科	京都第二赤十字病院
		循環器内科	近江八幡市立総合医療センター
		循環器内科	近江八幡市立総合医療センター
		総合診療科	洛和会音羽病院
		眼科	京都大学医学部附属病院
		整形外科	滋賀医科大学医学部附属病院
		整形外科	滋賀医科大学医学部附属病院
2019年度	3名	消化器内科	京都第二赤十字病院
		眼科	京都大学医学部附属病院
		整形外科	滋賀医科大学医学部附属病院
2018年度	1名	救急科	大阪市立大学医学部附属病院



2019 年度 診療実績

1日平均外来患者数	548人
1日平均入院患者数	407人
平均在院日数	13.5日
紹介率・逆紹介率	64.3%・93.9%
手術件数	3,938件 (うち全身麻酔 1,925件)
診療科別手術件数	眼科 …………… 1,096 整形外科 …………… 569 消化器外科 …………… 560 脳神経外科 …………… 415 泌尿器科 …………… 342 心臓血管外科 …………… 247 耳鼻咽喉科 …………… 219 呼吸器外科 …………… 167 産婦人科 …………… 114 形成外科 …………… 111 乳腺外科 …………… 81 循環器内科 …………… 16 その他…………… 1

診療科別 新入院患者数	循環器内科 …………… 1,393 消化器内科 …………… 1,204 外科 …………… 1,082 脳神経外科 …………… 836 総合診療科 …………… 697 眼科 …………… 557 脳神経内科 …………… 539 整形外科 …………… 475 腎臓内科 …………… 463 呼吸器外科 …………… 431 泌尿器科 …………… 364 心臓血管外科 …………… 255 耳鼻咽喉科 …………… 254 糖尿病内分泌内科 …………… 255 産婦人科 …………… 126 その他…………… 203
----------------	---

救急搬入件数	5,186件
救急搬入時転帰	外来：2,595件 入院：2,511件 CPA搬入：80件

入院時科別件数	総合診療科 …………… 532 外科(消化器外科) …………… 462 循環器内科 …………… 275 脳神経外科 …………… 269 消化器内科 …………… 214 脳神経内科 …………… 191 腎臓内科 …………… 174 内科 …………… 86 整形外科 …………… 75 心臓血管外科 …………… 69 呼吸器外科 …………… 30 その他…………… 134
---------	---



